

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
5.0a	システムリカバリ機能	システムリカバリサーバとシステムリカバリクライアントを共存させているとき、システムリカバリサーバをアンインストールするとシステムリカバリクライアントに必要なレジストリキーまで削除してしまう。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	システムリカバリサーバとシステムリカバリクライアントは同一コンピュータにインストールしないでください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ管理機能で、以下の手順でサービスを作成すると「サービスの作成に失敗しました」のメッセージが出る。 1) 通常通りにSROサーバをインストール 2) SRO管理機能で任意のサービスを作る。(例:test) 3) SROサーバをアンインストールする。この時「管理DBを削除する」にチェックを入れた状態。 4) SROサーバを再インストールする。 5) SRO管理機能を起動して同じサービス名で再度「test」を登録しようとする。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	なし	
	システムリカバリ機能	Linuxの環境設定に置いて固定IP設定かつDNSアドレスが未設定の場合にエラーとなって設定できない。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	なし	
	システムリカバリ機能	FMV-D6110にマルチキャスト配信を行った場合、配信速度が遅い場合がある。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	なし	
	システムリカバリ機能	システムリカバリの後処理のユーザ指定処理の際、登録したバッチやコマンドが0を返さない場合に、エラーを無視して正常と判定するチェックボックスを追加しました。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	なし	
	システムリカバリ機能	「.」を先頭に利用するサービス名を指定すると、エラーとなる。	「.」を先頭に指定できないようにプログラムを修正しました。	上 上+資源OP 特上	なし	
	システムリカバリ機能	以下の条件において、サービスの編集や、サービスのプロパティを行うと、ユーザ指定処理のバッチ名や、サイレントインストールのパス名が空白で表示されてしまう。 (1)1台のシステムリカバリサーバを複数のシステムリカバリ管理機能で運用している場合に、サービスを作成していない管理機能から、サービスの編集を行った場合 または (2)管理機能をバージョンアップ、または、レベルアップし、レベルアップ前に作成した既存のスケジュールを編集した際	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	なし	UIの初期表示が壊れるだけで、既存サービスの動作には問題ありません。
	システムリカバリ機能	システムリカバリクライアント機能において、システム的环境変数(%TEMP%)を変更した場合、正常に動作しない。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	システム的环境変数を変更しないようにしてください。	
	システムリカバリ機能	ドメイン参加用のユーザ名指定において、パスワードの文字数制限が14文字となっている。しかし、Windows2000以降のユーザアカウントはパスワードに14文字以上指定することが可能なので、14文字という制限を解除して欲しい。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	なし	
	システムリカバリ機能	瞬快R4.0/R5.0のシステムリカバリ機能において、イメージ取得を行ったヒナ型クライアントが固定IPアドレスでの運用の場合、イメージ配信時にそのヒナ型クライアントも配信対象に含めてイメージ配信した場合、IPアドレスの衝突が起こり、正しくイメージ配信(正確にはイメージ配信処理後の後処理)が行えない。	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	ヒナ型クライアントを配信対象に含めないようにしてください。	
	システムリカバリ機能	システムリカバリ機能で利用するひな型コンピュータに対して、ひな形作成前にWSUSでの動作実績がある場合、そのひな型を配信したクライアントは、WSUSの管理コンソールからクライアントPCの制御が出来なくなる。(全てのクライアントPCが一台として認識されます)	プログラムを改修しました。	上 上+資源OP 特上	システムリカバリ機能で利用するひな型に対して、事前にWSUSを利用して選択すれば現象は発生しません。	
	ウイルス対策ソフト連携	SymantecAntiVirus CorporateEdition10.1との連携に対応しました。	設定を見直しました。	全て	なし	
	管理機能	複数のクライアントを選択し、「クライアントPCの環境設定」を実行した場合、「リモートログオンタイプの取得に失敗しました。」が表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	全て	電源オフのクライアントPCを除外して選択すれば現象は発生しません。	
	管理機能	管理機能で最新の情報に更新を実行すると、まれにクライアントの状態が「プロトコルエラー」と表示され、以降そのクライアントを操作できなくなる。	プログラムを改修しました。	全て	なし	
	管理機能	管理機能からクライアントの電源オフを行った場合、電源が落ちずに「電源を切る準備ができました」のメッセージが表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	全て	なし	
	管理機能	瞬快管理機能を起動する際、サーバ名に17文字以上のサーバ名を指定する。その管理機能をアンインストールしようとすると、エラーが発生する。	プログラムを改修しました。	全て	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	クライアント機能	ChemOfficeがインストールされている環境下で以下の操作を行うと、「Microsoft SQL Server Desktop Engine(以下MSDE)」のセットアップインストーラが起動してしまふ。 ・イメージ配信後の後処理での瞬快クライアントサイレントインストール ・瞬快クライアントのアンインストール	プログラムを改修しました。	全て	Microsoft社のサイトを参照してください。(参照URL:http://support.microsoft.com/?kbid=889289)	
	クライアント機能	ランチャーアイコンを右ダブルクリックすると、「SKE00023 テンポラリーファイルの書き出しに失敗しました。」のメッセージが表示される。	プログラムを改修しました。	全て	OKボタンを押下し、そのまま処理を継続して問題ありません。	
	クライアント機能	Linuxのマルチブート構成時において、Rel3.5およびRel4.0からRel5.0にバージョンアップする場合、Windows側の瞬快をバージョンアップするとLinux側のモジュールがリモートからバージョンアップできなくなる。	プログラムを改修しました。	全て	Linuxクライアントにてバージョンアップしてください。	
	瞬間復元ドライバ	エプソン社製エンデバーAT955において、瞬間復元ドライバを修復モードからバックアップモードに変更すると、変更後OSが再起動を繰り返す場合がある。	プログラムを改修しました。	全て	OS起動時にPageUpキーを押下し、簡易環境設定メニュー画面を表示し、「キャンセル」を選択してください。	
	瞬間復元ドライバ	エクスプローラにおいて、修復対象のディレクトリ内のファイルをコピー、またはリネームした時、コピーで作成されたファイル、またはリネームしたファイルのプロパティ情報が欠落する。	プログラムを改修しました。	全て	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	瞬間復元ドライバ	Ulead社の「DVD MovieWriter 4」にてビデオデータをキャプチャし、「キャプチャ終了」ボタンを押すと、「キャプチャ失敗、キャプチャしたファイルが壊れている可能性があるので削除する」と表示され、キャプチャできない。	プログラムを改修しました。	全て	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	瞬間復元ドライバ	修復対象となっているファイルを編集する場合、エクスプローラでそのファイル一覧を参照していてもファイルサイズ・タイムスタンプの変更結果が即時反映されない。 ('最新の情報に更新'を実施することで反映される)	プログラムを改修しました。	全て	'最新の情報に更新'を実施してください。	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	瞬間復元ドライバ	一般ユーザ権限で、フリーソフトのLHAPLUSにてファイル圧縮を実行すると、エラーとなり圧縮できない。(管理者権限ユーザの場合は問題なく圧縮される)	プログラムを改修しました。	全て	管理者権限ユーザにてLhaplusを利用してください。	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	瞬間復元ドライバ	瞬快クライアント機能を修復無効モードでインストールされている環境をイメージ取得し、ディスクイメージの配信を行う。配信後、クライアントPCを起動し、ログオンするとスバナーアイコンが赤色で表示される場合がある。	プログラムを改修しました。	全て	なし	
	瞬間復元ドライバ	sophos antivirusがインストールされている環境において、瞬快のドライバが停止してしまう場合がある。	プログラムを改修しました。	全て	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ、sophos antivirusと瞬快がウイルス対策ソフト連携しているわけではありません。
	瞬間復元ドライバ	MacromediaのFreeHandMXというソフトで一般ユーザ権限で、新規ファイル作成を行うとファイルの作成に失敗してしまう場合がある。(管理者権限ユーザでは問題なし)	プログラムを改修しました。	全て	管理者権限ユーザにてFreeHandMXを利用してください。	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	瞬間復元ドライバ	瞬快をファイル・フォルダ単位でインストールした後、修復対象内にEXEをコピーしてから、コピー先のEXEを実行すると、タスクマネージャにて表示されるプロセス名が、テンポラリーファイル名(4aなど)になってしまう。	プログラムを改修しました。	全て	なし	ファイルフォルダ単位の場合のみ
	資源配付機能	管理機能から資源配付タブを開き、配付指示を出した時、画面右下のフレームの「処理日時」列に表示される日時情報が、指示を出した日時ではなく資源を登録した日時になっている。 正しくは、配付の指示を出した日時が入るべきである。	プログラムを改修しました。	全て	F5キーを押下し最新情報を取得しなおすと、正しい日時が表示されます。	
	資源配付機能	資源配付を行なうと、リモートログオンタイプがSKGINAからSfflogonになってしまう	プログラムを改修しました。	全て	なし	
	資源配付機能	cygwinのインストールされた環境でアプリ登録を行うとアプリケーションエラーが発生することがある。	プログラムを改修しました。	全て	なし	
	リモート画面操作	以下の操作を行うと、画面左上の<ツールパネル>->リモート操作モードは[個別選択モード]が有効な状態になっているが画面右側のリモート操作ウィンドウは[全台選択モード]になってしまう。 1.リモート管理機能を起動する 2.個別選択モードをクリックする 3.セッションを接続したままクライアントをシャットダウンする 4.その状態でクライアントを起動する。この間、リモート画面操作機能は起動したままの状態 5.<ツールパネル>->接続>を選択し、再度セッションを接続する。	プログラムを修正しました。	全て	なし	

対応製品レベル	カテゴリ	現象/内容	変更内容	影響範囲	従来製品での回避/対応方法	備考
	リモート画面操作	瞬快Rel.5.0のリモート画面操作機能ドリームクラフト社モジュール'dcblackd.exe(ファイルバージョン:1.1)が同居した場合、Windows起動時にWinlogon.exeのアプリケーションエラーが発生しブルー画面になることがある。	プログラムを修正しました。	全て	なし	
	リモート画面操作	リモート画面操作機能で1台だけモニタリングしている状態で「一覧表示画面」に移動し一度「モニタ停止」を実行すると、そのあと「モニタ開始」ができない。	プログラムを修正しました。	全て	なし	
	リモート画面操作	リモート画面操作機能をインストールしているPC上にイベントログが不定期に発生している。 イベントID:262 ソース:PlugPlayManager 説明:サービス"SKBlackd"は電源イベント要求を拒否しました。	プログラムを修正しました。	全て	なし	
b	システムリカバリ機能	運用中に、PXEサーバがアプリケーションエラーを出力し終了する場合がある。	プログラムを修正しました。	上 上+資源OP 特上 Rel.5.0a以前	PXEサービスを再起動してください。	
	クライアント機能	バージョンアップ・版数アップが可能になりました。	プログラムを修正しました。	全て	クライアントをアンインストールし、再インストールしてください。	